

建築・環境学部共通科目 教育課程表

2017年度以降入学生用

◆：科目名変更あり。変更内容は科目表を参照のこと。

分野	1・2セメスター		3・4セメスター		5・6セメスター		7・8セメスター		卒業要件 単位数	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期		
必修科目	人文	キリスト教学(2)	キリスト教学 (技術者としての倫理)(2)						4単位	
	英語	総合英語(リーディング)(1)	総合英語(リスニング)(1)						4単位	
選択必修科目	総合(地域)		1-8セメスター：かながわ学(IT産業)(2)		KGUかながわ学(2)				2単位	
選択必修科目	英語	春学期(1-8セメスター)： 英語講読(科学・基礎)(1) 英語講読(科学)(1) 資格英語(TOEIC基礎)(1) 資格英語(工業英検)(1) 秋学期(1-8セメスター)： 英語講読(科学・基礎)(1) 英語講読(文学)(1) 資格英語(TOEIC基礎)(1) 資格英語(工業英検)(1)								英語またはその他外国語科目から同一語科目で4単位
	英語	春学期(3-8セメスター)： 資格英語(TOEIC中級)(1) 英語講読(論文)(1) アカデミックライティングⅠ(1) ◆アカデミックプレゼンテーションⅠ(1) オーラルコミュニケーションⅠ(1) 秋学期(3-8セメスター)： 資格英語(TOEIC中級)(1) 資格英語(TOEIC上級)(1) 英語講読(時事英語)(1) アカデミックライティングⅡ(1) アカデミックプレゼンテーションⅡ(1) オーラルコミュニケー								
	ドイツ語	ドイツ語ⅠA(文法)(1)	ドイツ語ⅠB(文法)(1)							
	ドイツ語	ドイツ語ⅡA(読解)(1)	ドイツ語ⅡB(読解)(1)							
	フランス語	フランス語ⅠA(1)	フランス語ⅠB(1)	フランス語ⅡA(1)	フランス語ⅡB(1)					
	中国語	中国語ⅠA(1)	中国語ⅠB(1)	中国語ⅡA(1)	中国語ⅡB(1)					
	スペイン語	スペイン語ⅠA(1)	スペイン語ⅠB(1)	スペイン語ⅡA(1)	スペイン語ⅡB(1)					
	ロシア語	ロシア語ⅠA(1)	ロシア語ⅠB(1)	ロシア語ⅡA(1)	ロシア語ⅡB(1)					
	総合(地域)	KGUキャリアデザイン入門(2)								
	人文	春学期(1-8セメスター)： 文学Ⅰ(2) 哲学Ⅰ(2) 歴史学Ⅰ(2) 論理学Ⅰ(2) 文化人類学Ⅰ(2) 秋学期(1-8セメスター)： 文学Ⅱ(2) 哲学Ⅱ(2) 歴史学Ⅱ(2) 論理学Ⅱ(2) 文化人類学Ⅱ(2)								
社会	春学期(1-8セメスター)： 経済学Ⅰ(2) 社会学(2) 法学(2) 憲法(2) 政治学Ⅰ(2) 心理学Ⅰ(2) 秋学期(1-8セメスター)： 経済学Ⅱ(2) 社会福祉論(2) 法学(2) 憲法(2) 政治学Ⅱ(2) 心理学Ⅱ(2)									
社会	日本事情(人文)(2)									
社会	日本事情(社会)(2)									
社会	教養セミナー(2)	教養セミナー(2)								
総合(地域)	秋学期(1-8セメスター)：Japanese Culture and Society(2) 秋学期(2-5セメスター)：KGUキャリアデザイン基礎Ⅰ(2) 春学期(3-5セメスター)：KGUキャリアデザイン基礎Ⅱ(2) 春学期(3-8セメスター)：KGUキャリアデザイン応用Ⅰ(企業の社会的責任と消費者教育)(2)									
総合(地域)	1-8セメスター：ソーシャルサービス(2)									
総合(地域)	1-8セメスター：地域創生特論(1)									
保健体育科目	健康スポーツⅠ(1)	健康スポーツⅡ(1)	健康スポーツⅢ(1)	健康スポーツⅣ(1)	春学期(5-8セメスター)：健康スポーツⅤ(1) 秋学期(5-8セメスター)：健康スポーツⅥ(1)				自主選択必修科目	
保健体育科目					武道指導論Ⅰ(2)	武道指導論Ⅱ(2)				
ドイツ語	春学期(3-8セメスター)：ドイツ語ⅢA(1) 秋学期(3-8セメスター)：ドイツ語ⅢB(1)								自主選択必修科目	
英語/演習	1-8セメスター：海外語学演習(英・韓・仏・独)(2)									

建築・環境学部共通科目 教育課程表

2013~2016年度入学生用

◆：科目名変更あり。変更内容は科目表を参照のこと。

分野	1・2セメスター		3・4セメスター		5・6セメスター		7・8セメスター		卒業要件 単位数	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期		
必修科目	教養科目 人文	◆キリスト教学② キリスト教学 (技術者としての倫理)②							4単位	
	外国語科目 英語	総合英語(リーディング)① 春・秋学期：総合英語(オーラルコミュニケーション)① 春・秋学期：総合英語(ライティング)①	総合英語(リスニング)①						4単位	
選択必修科目	英語	春学期(1-8セメスター)： 英語講読(科学・基礎)① 英語講読(科学)① 資格英語(TOEIC基礎)① 資格英語(工業英検)① 【廃】英語プレゼンテーションⅠ① 秋学期(1-8セメスター)： 英語講読(科学・基礎)① 英語講読(文学)① 資格英語(TOEIC基礎)① 資格英語(工業英検)① 【廃】英語プレゼンテーションⅡ① 【廃】インターネットイングリッシュ①								英語またはその他外国語科目から同一語科目で4単位
	外国語科目	春学期(3-8セメスター)： 資格英語(TOEIC中級)① 英語講読(論文)① アカデミックライティングⅠ① ◆アカデミックプレゼンテーションⅠ① オーラルコミュニケーションⅠ① 秋学期(3-8セメスター)： 資格英語(TOEIC中級)① 資格英語(TOEIC上級)① 英語講読(時事英語)① アカデミックライティングⅡ① アカデミックプレゼンテーションⅡ① オーラルコミュニケーションⅡ① 【廃】ビジネスイングリッシュ①								
	ドイツ語	ドイツ語ⅠA(文法)① ドイツ語ⅡA(読解)①	ドイツ語ⅠB(文法)① ドイツ語ⅡB(読解)①							
	フランス語	フランス語ⅠA①	フランス語ⅠB①	フランス語ⅡA①	フランス語ⅡB①					
	中国語	中国語ⅠA①	中国語ⅠB①	中国語ⅡA①	中国語ⅡB①					
	スペイン語	スペイン語ⅠA①	スペイン語ⅠB①	スペイン語ⅡA①	スペイン語ⅡB①					
	ロシア語	ロシア語ⅠA①	ロシア語ⅠB①	ロシア語ⅡA①	ロシア語ⅡB①					
	複合	KGUキャリアデザイン入門②								
	人文	春学期(1-8セメスター)： 文学Ⅰ② 哲学Ⅰ② 歴史学Ⅰ② 論理学Ⅰ② 文化人類学Ⅰ② サウンドスケープデザイン②(※1) 秋学期(1-8セメスター)： 文学Ⅱ② 哲学Ⅱ② 歴史学Ⅱ② 論理学Ⅱ② 文化人類学Ⅱ②								
	社会	春学期(1-8セメスター)： 経済学Ⅰ② 社会学② 法学② 憲法② 政治学Ⅰ② 心理学Ⅰ② 秋学期(1-8セメスター)： 経済学Ⅱ② 社会福祉論② 法学② 憲法② 政治学Ⅱ② 心理学Ⅱ②								
教養科目	教養セミナー②	教養セミナー② 【廃】総合コースⅠ② 【廃】総合コースⅡ② 【廃】総合コースⅢ② 【廃】総合コースⅣ②								
	複合	秋学期(1-8セメスター)：Japanese Culture and Society② 秋学期(2-5セメスター)：KGUキャリアデザイン基礎Ⅰ② 春学期(3-5セメスター)：KGUキャリアデザイン基礎Ⅱ② 春学期(3-8セメスター)：KGUキャリアデザイン応用Ⅰ(企業の社会的責任と消費者教育)② 春学期(3-8セメスター)：【廃】国際コミュニケーション論② 秋学期(3-8セメスター)：【廃】英語コミュニケーション論② 1-8セメスター：ソーシャルサービス②								
	日本事情(自然)②									
	複合(地域)	1-8セメスター：かながわ学(IT産業)② KGUかながわ学② 地域創生特論①								
	保健体育科目	健康スポーツⅠ①	健康スポーツⅡ①	健康スポーツⅢ①	健康スポーツⅣ①	春学期(5-8セメスター)：健康スポーツⅤ① 秋学期(5-8セメスター)：健康スポーツⅥ① 武道指導論Ⅰ② 武道指導論Ⅱ②				
外国語科目	ドイツ語		春学期(3-8セメスター)：ドイツ語ⅢA① 秋学期(3-8セメスター)：ドイツ語ⅢB①							
	英語/演習	1-8セメスター：海外語学演習(英・中・韓・仏・独)②								

専門基礎科目、専門基礎科目、専門応用科目、自主選択学修科目を含めて124単位以上  
16単位(外国語科目の選択必修科目4単位は除く)

※1：2017年度から分野変更(建築・環境学部 専門応用科目)となる。2016年度以前修得者は教養科目の単位数となる。

理工学部専門基幹科目／専門基礎科目 教育課程表 2017年度以降入学生用

分野	1・2セメスター		3・4セメスター		5・6セメスター		7・8セメスター		卒業要件 単位数
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	
専門基幹科目 必修／選択必修／選択(※1)	数学	微分積分学Ⅰ(2) (土木・都市防災以外) 線形数学Ⅰ(2)	微分積分学Ⅰ(2) (土木・都市防災のみ) 微分積分学Ⅱ(2) 線形数学Ⅱ(2)	数理統計学Ⅰ(2) 複素関数論Ⅰ(2)	数理統計学Ⅱ(2) 複素関数論Ⅱ(2)				
	物理学・生物学・化学	物理学Ⅰ(2) 物理学Ⅱ(2) 化学Ⅰ(2) 生物学Ⅰ(2)	物理学Ⅲ(2) 物理学Ⅳ(2)	栽培Ⅰ(1)	栽培Ⅱ(1)				
	機械	機械工学総論Ⅰ(2)	機械工学総論Ⅱ(2)	木材加工Ⅰ(2) 金属加工Ⅰ(2) 機械実習(1)	木材加工Ⅱ(2) 金属加工Ⅱ(2)				
	電気			電気工学総論Ⅰ(2)	電気工学総論Ⅱ(2) 電気実習(1)				
	情報	情報基礎及び演習Ⅰ(2) 情報概論(2)	情報基礎及び演習Ⅱ(2)	プログラミング基礎(2) Webプログラミング(2)	プログラミング応用(2)				
	環境科目	環境社会論(2)	環境フィールド演習(2)	環境と化学(2) 環境地球科学Ⅰ(2)	環境生態学(2) 環境地球科学Ⅱ(2)	環境マネジメント(2)	環境と法(2)		
	概論	理工学概論(2)							
	FP		フレッシュアスプロジェクト(2)						
	インターン					春(5-6セメスター)： KGUインターンシップⅠ(事前指導)(1)	秋(6-7セメスター)： KGUインターンシップⅡ(実習)(1)	春学期(5-8セメスター)：インターンシップA(2)	
	教職	春学期(1-8セメスター)：職業指導1(2) 秋学期(1-8セメスター)：職業指導2(2)							
専門基礎科目 必修／登録必修／選択必修／選択(※1)	数学	数学基礎Ⅰ(2) 理工学数学A(2)	数学基礎Ⅱ(2) 理工学数学B(2)						
	物理学・生物学・化学			物理学総論Ⅰ(2)	物理学総論Ⅱ(2)				
	生物学	生物学総論Ⅰ(2)	生物学総論Ⅱ(2)	生物学総論Ⅰ(2) 生物学実験(2)	生物学総論Ⅱ(2)				
	化学	化学Ⅱ(2) 化学実験(2) 生物学Ⅱ(2)	化学Ⅱ(2) 化学実験(2) 生物学Ⅱ(2)	化学総論Ⅰ(2)	化学総論Ⅱ(2)				
	地学	地学総論Ⅰ(2)	地学総論Ⅱ(2)	地学実験(2)					
	実験	工学基礎実験Ⅰ(2)	工学基礎実験Ⅱ(2)						
情報		情報と職業(2)		Visual Basicプログラミング(2)					

共通科目、専門応用科目、自主選択学習科目を含めて124単位以上  
24単位

※1：必選別はコースにより異なる。

理工学部専門基幹科目／専門基礎科目 教育課程表 2013～2016年度入学生用

分野	1・2セメスター		3・4セメスター		5・6セメスター		7・8セメスター		卒業要件 単位数	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期		
専門基幹科目 必修／選択必修／選択(※1)	数学	微分積分学Ⅰ(2) (土木・都市防災以外) 線形数学Ⅰ(2) 代数学ⅠA(2) (数理・物理以外) 幾何学ⅠA(2) (数理・物理以外)	微分積分学Ⅰ(2) (土木・都市防災のみ) 微分積分学Ⅱ(2) 線形数学Ⅱ(2) 代数学ⅠB(2) (数理・物理以外) 幾何学ⅠB(2) (数理・物理以外)	代数学ⅠA(2) (数理・物理のみ) 代数学ⅡA(2) 幾何学ⅠA(2) (数理・物理のみ) 幾何学ⅡA(2) 微分方程式(2) 数理統計学Ⅰ(2) 複素関数論Ⅰ(2)	代数学ⅠB(2) (数理・物理のみ) 幾何学ⅠB(2) (数理・物理のみ) ベクトル解析(2) 数理統計学Ⅱ(2) 複素関数論Ⅱ(2)					共通科目、専門応用科目、自主選択学修科目を含めて12.4単位以上 20/34単位(※2)
	物理・ 学・ 生 物 学 ・ 化 学	物理学Ⅰ(2) 物理学Ⅱ(2) 化学Ⅰ(2) 生物学Ⅰ(2)	物理学Ⅲ(2) 物理学Ⅳ(2)	栽培Ⅰ(1)	栽培Ⅱ(1)					
	機 械	機械工学総論Ⅰ(2)	機械工学総論Ⅱ(2)	木材加工Ⅰ(2) 金属加工Ⅰ(2) 機械実習(1)	木材加工Ⅱ(2) 金属加工Ⅱ(2)					
	電 気			電気工学総論Ⅰ(2)	電気工学総論Ⅱ(2) 電気実習(1)					
	情 報	情報基礎及び演習Ⅰ(2) 情報概論(2)	情報基礎及び演習Ⅱ(2)	プログラミング基礎(2) Webプログラミング(2)	プログラミング応用(2)					
	環 境 科 目	環境社会論(2)	環境フィールド演習(2)	環境と化学(2) 環境地球科学Ⅰ(2)	環境生態学(2) 環境地球科学Ⅱ(2)	環境マネジメント(2)	環境と法(2)			
	概 論 目	理工学概論(2)								
	F P		フレッシュアズプロジェクト(2)							
	イ ン タ ー ン シ ッ プ					春(5-6セメスター)： KGUインターンシップⅠ(事前指導)(1) 秋(6-7セメスター)： KGUインターンシップⅡ(実習)(1) 春学期(5-8セメスター)：インターンシップA(2) 秋学期(4-5セメスター)： 【廃】KGUインターンシップ事前指導(1) 春秋(通年)(5-7セメスター)：【廃】KGUインターンシップ実習(2)				
	教 職			春学期(1-8セメスター)：職業指導1(2) 秋学期(1-8セメスター)：職業指導2(2)						
専門基礎科目 必修／選択必修／選択(※1)	数 学	数学基礎Ⅰ(2) 理工学数学A(2)	数学基礎Ⅱ(2) 理工学数学B(2)							
	物 理 学 ・ 化 学 ・ 生 物 学		春学期(1-4セメスター)：物理学実験Ⅰ(1) 秋学期(1-4セメスター)：物理学実験Ⅱ(1)	物理学総論Ⅰ(2) 物理学総論Ⅱ(2)	物理学総論Ⅱ(2)					
		生物学総論Ⅰ(2)	化学Ⅱ(2) 化学実験(2) 生物学Ⅱ(2) 生物学総論Ⅱ(2)	化学総論Ⅰ(2) 生物学実験(2)	化学総論Ⅱ(2)					
	地 学	地学総論Ⅰ(2)	地学総論Ⅱ(2)	地学実験(2)						
	実 験	工学基礎実験Ⅰ(2)	工学基礎実験Ⅱ(2)							
	情 報		情報と職業(2)		Visual Basicプログラミング(2)					

※1：必修別はコースにより異なる。  
※2：卒業要件必要単位数はコースにより異なる。各コースの卒業資格要件のページを参照すること。

建築・環境学部 建築・環境学科履修系統図

		目的等	
専門基礎科目		理学、工学、工業の基礎的な事項を学び、建築・環境学の各分野がどのように位置づけられるかを学ぶ。	
専門基礎科目	共通	ワークショップ	ものを図面やデザインで表現する技術、模型製作のスキル、模型を用いた建築空間の表現方法などを演習を通して学ぶ。また、仮想的な建築に関する対象物を協働し実際に建設することで、企画から設計、施工、解体、資材確保、再利用までを学ぶ。以上のような体験を通じて、建築・環境学に必要な表現能力や企画力、協調性などを身につける。
		CAD	建築設計を実施する際に必須となっているCADを利用できるスキルを、平面から立体、レンダリング表現まで演習を通して身につける。
		数学・法規・測量	(数学系科目) 建築・環境学を学ぶ上で必要となる、数学、物理の基礎的な要素を学び、論理的思考を身につける。  (法規、測量学) 建築に関わる法規の適用方法を理解すること、また土地や建物を測量する技術を学び、実務的な展開能力を獲得する。
		建築設計製図	建築設計における設計図の役割を理解し、立体物を平面に描くことを学び、建築物の各種図面、表現方法を理解する。その上で、学んできた建築の知識を統合して、住宅やオフィスビルなどの設計演習を実施し、基礎的な建築設計技術を習得する。
コース・コア	建築エンジニアリングコース	建築構造サブコース	建築構造や材料・施工に関わる設計・施工、開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野に携わる人材を育成する。
		建築材料・施工サブコース	
	建築デザインコース	建築に対する幅広い基礎的な素養を身につけると共に、構造、材料、環境・設備等の分野も総合的に考え、建築の計画・デザイン(設計)を実践できる感性と能力を有する人材を育成する。	
	建築・都市再生デザインコース	都市計画・地域デザインやまちづくり分野、また都市や建物の再生計画、リフォーム、コンバージョンなどを専門とする分野に携わる人材を育成する。	
	すまいデザインコース	すまいに関する知識をもとに、戸建住宅や集合住宅などの様々な用途の住宅の計画と設計やインテリアと家具のデザイン、さらには住居後のメンテナンスとリフォームに関する分野まで幅広く携わる人材を育成する。	
デザイン分野	環境共生デザインコース	建物の環境・設備に関わる設計・施工、開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野、さらにそれらの技術と建築設計とを総合的に捉えてデザインする分野に携わる人材を育成する。	
	都市	ランドスケープ	都市デザインの内、景観や環境に関する内容を学ぶ領域である。歴史的・風土的側面を踏まえて、風景計画や造園、ランドスケープをデザインする際に必要とされる諸知識及び方法論と応用力を身につける。
		都市・地域	都市デザインの内、経済的、歴史的、物的、法的側面を習得する領域である。過去・現在・未来が連続する都市の空間構造、都市基盤の法的整備手法、都市計画の実務を理解し、都市空間の計画に必要な総合的理解力を身につける。
	住宅	住まいのデザインに関する基礎知識を身につける領域である。個人と家族と社会の関係、家族における世代や性、少子高齢社会等の問題を理解し、住宅を文化的、地域的、風土的な視点から読み解く力を養う。建築をめぐる経済・法律・環境面の実学的知識を学び、それらを住空間のデザインに活かす応用力を身につける。	
	家具・インテリア	商業施設、オフィス、住宅等のインテリアデザインに関する内容を学ぶ領域である。スケールにとらわれない環境デザインのありかたを学ぶ。また、家具のデザインと製作を通して、ものづくりの基礎である、原寸で考える習慣とデザインのバランスを身につける。	
	歴史	建築の歴史について、過史的に学ぶ領域である。日本と西洋における、古代から近代までの時代様式の変遷を理解して、建築デザインを学ぶ上での基礎的教養を身につける。また、近代における建築理論の変遷のアウトラインを理解する。	
構造分野	構造力学	力学を学び、梁やフレーム、トラス構造物の応力や変形の計算方法を知る。構造設計の理論背景を理解することで、設計コードを適切に捉える素養を身につけると共に、建築物の持つ力の流れと形の関係を理解する素地を作る。	
	各種構造・計画	代表的な構造の特徴を理解した上で、設計方法や接合部などの詳細までを学び、実験から実挙動を観察し、理論との整合性を確認する。また、建築物の構造形式の分類と適用事例を知り、適切な構造形式を選択できる能力を養う。	
	耐震・振動・応用	我が国で必須となる耐震設計の体系を大まかな考え方からスタートし、建物振動の数学的取り扱い、コンピュータを用いた解析手法、地盤の影響などを学ぶことを通じて理解する。現在の構造・耐震設計方法を読み解き、新たな設計試みへの展開能力を身につける。	
	構造設計	鉄骨構造、RC構造を対象に実務設計時の行程を、演習を通して理解し、構造設計業務を適切に履行できる能力を身につける。	
材料・施工分野	材料	建築生産・材料基礎では、建築生産分野への導入教育として建築材料および施工をなぜ学ぶ必要があるのかなど、今後の学習の動機づけを行う。建築材料関係の3科目では構造材料と仕上げ材料についてそれぞれの種類、製造法、特徴、使用方法の注意点を理解し、建築技術者として仕事をしていく上での基礎力を身につける。	
	構法	建築構法では、建物の構造原理や特徴、基本部材構成など、建築物を設計し施工するうえでの基礎となる知識を身につける。構法Ⅰでは、主に構造の基礎知識習得を目指しており、木造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造、その他構造を扱う。構法Ⅱでは、床、壁、屋根、天井、階段などがどのように構成されているかを理解する。	
	施工	設計図書どおりの建物を安全かつ効率的に実現していく方法を施工学により理解する。地盤、基礎、躯体、仕上げ別に基本的な施工順序、施工方法、施工上の注意点を学ぶほか、最先端の施工技術についても理解する。施工演習は以上の基礎知識をもとに、現場管理者に不可欠な施工図作成や積算の方法を実習により身につける。	
	維持管理	建築病理学では建物に生ずる劣化の診断方法や補修方法を体系的に学ぶ。また、ファシリティ・マネジメントでは、建築物の用途変更、最適再配分の基本的な考え方について学び、公共施設を中心とした建物の管理方法を身に付ける。以上を通して、建築物を長く使うことの重要性について理解する。	
環境・設備分野	環境・設備要素	建築・都市の生活空間を計画する上で必要となる熱・空気・光・音・水等の環境要素を安全かつ快適な状態に保つために必要となる建築・都市環境工学の基礎を学ぶ。それと共に、機械的な環境調整技術となる空調設備、給排水衛生設備、建築電気設備の概要とそれらの設計・計画を行うための基礎知識を身につける。	
	環境計画・デザイン	建築・環境学における環境工学と設備分野に関する基礎的な事項を理解した上で、省エネルギー、省資源で地球環境に配慮した建築・設備の設計・計画を行うために必要となる計画手法を学ぶ。また、建物のライフサイクル、維持保全、コストの低減をも考慮した建築環境・設備の改修や更新について、基礎能力を養う。	
	システム演習・実験	建築環境工学、給排水衛生設備、空調設備、電気設備を主体とした建築設備の実験を体験し、実践的な能力を習得する。同時に環境・設備設計演習を行い、計算法や図面化するための手法を習得する。また、コンピュータを用いた建築・環境シミュレーション手法を学び、解析手法を併用した環境・設備設計手法の基礎力を養う。	
	省エネ・リサイクル	建築・都市に関わる既存のガス・電気などのエネルギー技術に加え、太陽光、風力、地熱などの未利用エネルギー技術の安全性や実用性等について学ぶ。また、廃棄物等の資源のリサイクル手法とその有効性や課題点について学習し、環境負荷を低減した持続可能な循環型社会の構築のために必要な総合的な能力を養う。	
卒業研究	建築・環境学の総合的かつ全体的な学術体系を基礎とし、デザインとエンジニアリングの統合、環境との共生、既存の社会資源の維持・活用・再生、そして人々の持続する生活の質の向上など、現在の共生社会が必要とする諸課題を追求し、それに応える課題解決能力を身につける。		

建築・環境学部専門科目

		1・2セメスター		3・4セメスター		5・6セメスター		7・8セメスター	
専門基幹科目		理工学概論							
ワークショップ		ドローイング ワークショップ	モデリング ワークショップ	ビルディング ・ワークショップ					
CAD		CAD演習 I	CAD演習 I	CAD演習 II	CAD演習 II / CAD演習 III				
数学・法規・測量		基礎数学 I	基礎数学 II				建築法規A	建築法規B	
		文系のための 建築数学・物理					測量学及び実習		
建築設計製図		建築設計製図 I	建築設計製図 II	建築設計製図 III	建築設計製図 IV				
建築 エンジニアリング コース	建築構造 サブコース					建築構法設計製図	建築構造設計製図		
	建築 材料・施工 サブコース								
建築デザイン コース					エリアサーベイ演習	ハウジング デザインスタジオ	地域施設 デザインスタジオ	建築・都市 デザインスタジオ	
建築・都市再生デザイン コース						建築再生 デザインスタジオ	都市再生 デザインスタジオ		
すまいデザイン コース					住宅ケース スタディ演習	住宅設計スタジオ	住宅インテリア デザインスタジオ	すまい デザインスタジオ	
環境共生デザイン コース						建築環境 デザインスタジオ	パッシブ デザインスタジオ		
建築計画・デザイン		建築計画・ デザイン基礎		建築計画 I	建築計画 II / 建築デザイン論	建築再生計画論			
都市	ランドスケープ			サウンドスケープ デザイン	ランドスケープ論				
	都市・地域					不動産学基礎/ 都市形成史	アーバンデザイン	都市・地域計画論	
住宅					家族論	すまいデザイン論	住居史		
家具・インテリア						インテリアデザイン	ファニチャーデザイン		
歴史				日本建築史	西洋建築史	近代建築史	建築理論史		
構造力学			フレームの力学基礎	フレームの力学 I / 静定フレーム演習	フレームの力学 II / 不静定フレーム演習	フレームの力学 III			
各種構造・計画					建築構造計画	鉄骨構造/ 鉄筋コンクリート構造	建築構造実験		
耐震・振動・応用					建築耐震工学概論	建築振動学	構造解析学	基礎・地盤力学/ 地震工学概論	
構造設計							構造設計 I	構造設計 II	
材料			建築生産・材料基礎	建築材料学 I	建築材料学 II / 建築材料実験		インテリア材料・施工		
構法				建築構法 I	建築構法 II				
施工						建築施工学 I	建築施工学 II	施工演習	
維持管理							建築病理学/ ファシリティ・ マネジメント		
環境・設備要素			建築環境・設備基礎	建築熱環境	建築水環境	電気設備論	建築・地球環境論	建築環境・設備応用	
環境計画・デザイン				建築光・音環境	建築空気環境	都市環境			
						建築設備計画	環境設備リニューアル	環境設備維持保全	
システム演習・実験						パッシブデザイン			
						建築環境・設備実験	環境シミュレーション		
省エネ・リサイクル							建築設備・設計演習		
							建築環境エネルギー/ 資源リサイクル		
卒業研究								ゼミナール/ 卒業研究	卒業研究/ ゼミナール



必修科目



コース必修科目



### カリキュラム・ポリシー (概要)

建築・環境学は狭い意味での工学技術の一分野ではなく、ひとつの全体性を備えた総合的な学問領域であり、その多面性から本学部・学科は5つのコースを設けているが、教育課程として1つの「学びの流れ」がコース共通に流れる特徴ある編成としています。

この流れは1・2年次の建築設計製図、3・4年次から分かれるコース毎のスタジオ(卒業研究を含む)により構成され、学部共通に1年次より用意された共通科目及び専門科目の個別的科目群を総合化する場として位置付けられています。ここでは学生第一と考え、学生一人ひとりの多様な資質や能力に肌理細やかに対応する少人数制指導により、設計を中心とした実践的な学修を行います。

[ ] 建学の精神、多文化理解につながる教養、興味・関心の  
ある事柄について幅広く学び、「総合英語」を中心とした  
語学を通して、コミュニケーション能力を身につける。

[ ] 数学、物理等の基礎を理解し、活用方法を学ぶ

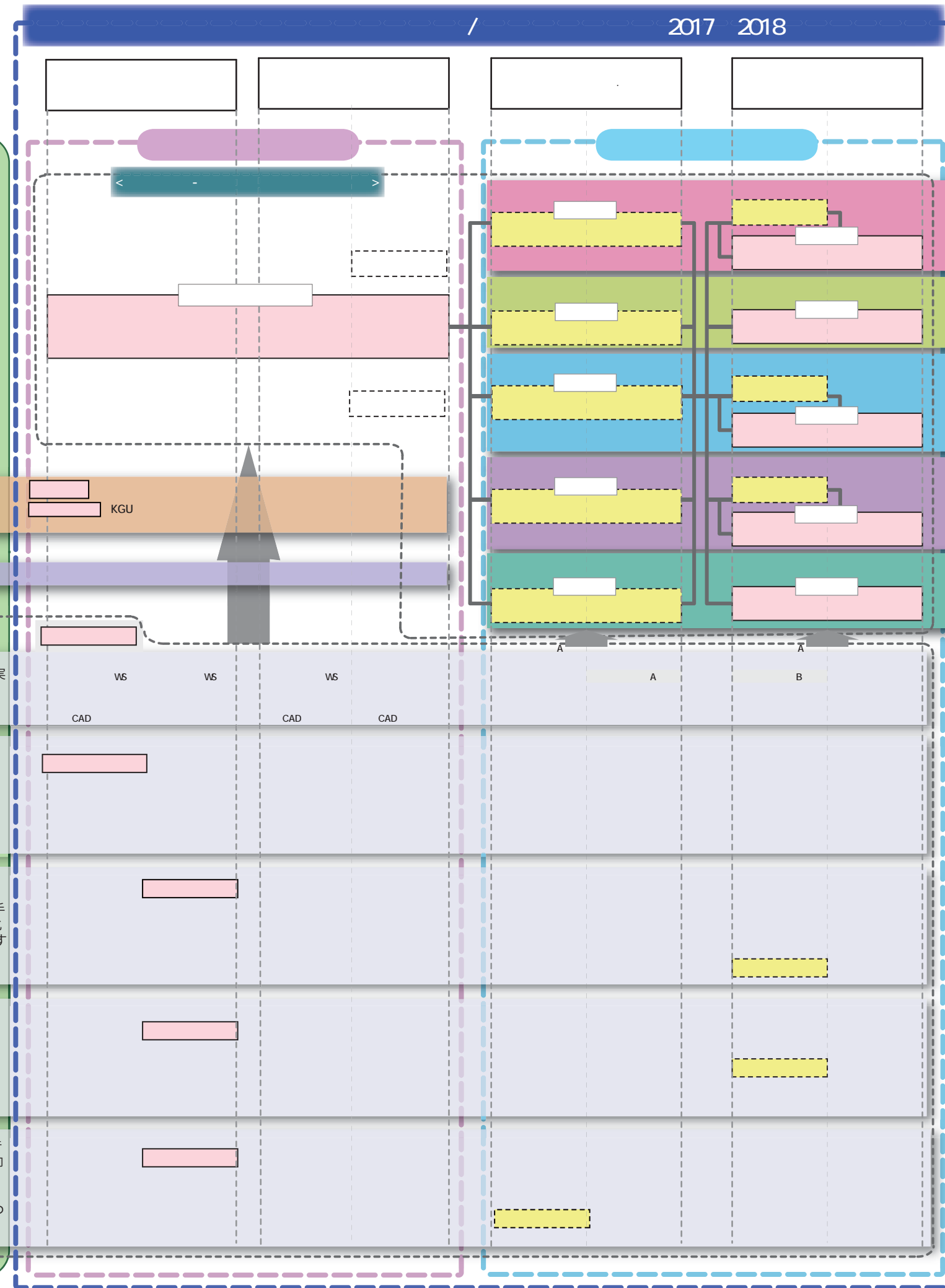
[ ] 図の表現、基礎的数学・物理、CADの利用方法、法規、実  
労働の体験を通じて、建築・環境学を学ぶための素地と  
実践を学ぶ

[ ] 計画・設計に必要な幅広い素養を身につけ、デザ  
イン、構造、材料・施工、環境・設備の4分野を総合的  
・統合的にとらえる能力を培う。  
社会、地域や建物を実感すること、体験することを通  
じ、自身でそれらを分析し、望ましい建築空間として  
提案する力を育む。

[ ] 建築物の構造、材料に関わる知識を得るための科目  
群により、各種構造材料に対する構造計画、構造設計手  
法、耐震補強の手法を理解した上で、耐震性、長寿命化  
などを十分に反映した安心・安全な建物の設計、提案す  
る能力を育む。

[ ] 建築物の材料・施工、維持管理に関わる知識を得  
るための科目群により、維持管理計画、材料・施工計  
画を理解した上で、長寿命化などを十分に反映した  
安心・安全な建物の設計、提案する能力を育む。

[ ] 建築に関連する環境要素には、熱・光・空気・水・音  
などがあり、これらを調整して快適かつ環境負荷を抑  
えた建築・設備技術について学ぶ。また、その技術を  
応用し、人々が安全で快適な生活が営める建築空間  
を創造できる幅広い環境共生デザイン能力を身につ  
けていく。



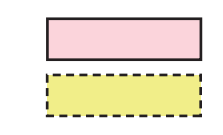
### コース毎のディプロマポリシー

- コースDP1**  
建築に対する幅広い基礎的な素養を身につけると共に、構造、材料、環境・設備等の分野も総合的に考え、建築の計画・デザイン(設計)を実践できる感性と能力を有すること。
- コースDP2**  
建築構造や材料・施工に関わる設計・施工、開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とできる知識と実践力を身につける。
- コースDP3**  
都市計画・地域デザインやまちづくり分野、また都市や建物の再生計画、リフォーム、コンバージョンなどを専門とできる知識と実践力を身につける。
- コースDP4**  
すまいに関する知識をもとに、戸建住宅や集合住宅などの様々な用途の住宅の計画と設計やインテリアと家具のデザイン、さらには住居後のメンテナンスとリフォームに関する分野まで幅広く携わることができる知識と実践力を身につける。
- コースDP5**  
建物の環境・設備に関わる設計・施工、開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野、さらにそれらの技術と建築設計とを総合的に捉えてデザインする分野に携わることができる知識と実践力を身につける。

### 建築・環境学部ディプロマポリシー (概要)

建築・環境学の総合的かつ全体的な学術体系を基盤とし、デザインとエンジニアリングの統合、環境との共生、既存の社会資源の維持・活用・再生、そして人々の持続する生活の質の向上など、現在の共生社会が必要とする諸課題を追究し、それに応えることができる人材を育成するために用意された諸科目の修得を求めます。

- 具体的には、
- ・建築の意匠、歴史、構造、材料、環境・設備に関する基礎的知識を理解している
  - ・建築物を設計する知識に基づいて、図面を描くことができる
  - ・建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを理解している
  - ・上記コース毎にDP(diploma policy)を身につけている



### カリキュラム・ポリシー (概要)

建築・環境学は狭い意味での工学技術の一分野ではなく、ひとつの全体性を備えた総合的な学問領域であり、その多面性から本学部・学科は5つのコースを設けているが、教育課程として1つの「学びの流れ」がコース共通に流れる特徴ある編成としています。

この流れは1・2年次の建築設計製図、3・4年次から分かれるコース毎のスタジオ(卒業研究を含む)により構成され、学部共通に1年次より用意された共通科目及び専門科目の個別的科目群を総合化する場として位置付けられています。ここでは学生第一と考え、学生一人ひとりの多様な資質や能力に肌理細やかに対応する少人数制指導により、設計を中心とした実践的な学修を行います。

[ ] 建学の精神、多文化理解につながる教養、興味・関心の  
ある事柄について幅広く学び、「総合英語」を中心とした  
語学を通して、コミュニケーション能力を身につける。

[ ] 数学、物理等の基礎を理解し、活用方法を学ぶ

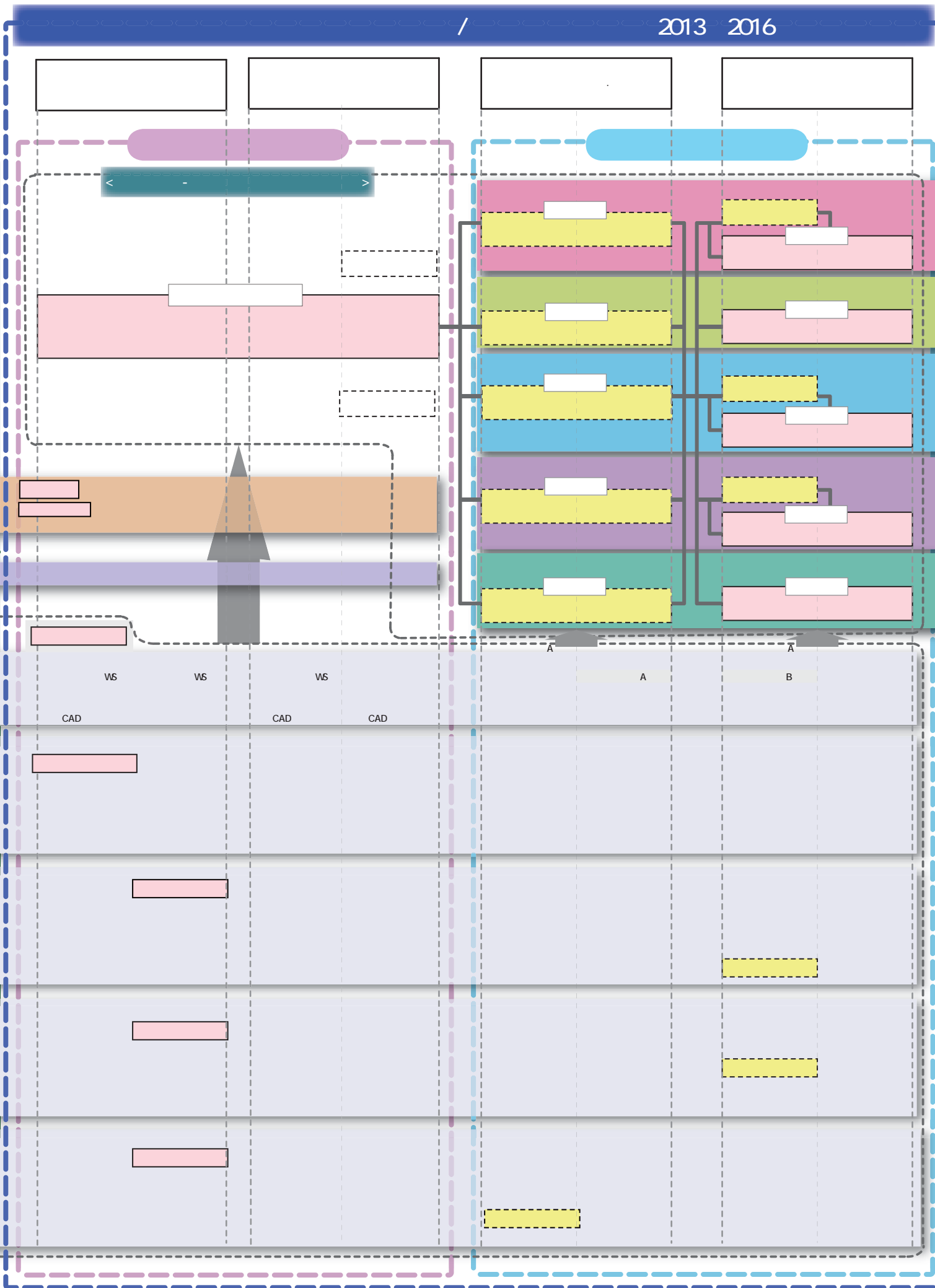
[ ] 図の表現、基礎的数学・物理、CADの利用方法、法規、実  
労働の体験を通じて、建築・環境学を学ぶための素地と  
実践を学ぶ

[ ] 計画・設計に必要な幅広い素養を身につけ、デザ  
イン、構造、材料・施工、環境・設備の4分野を総合的  
・統合的にとらえる能力を培う。  
社会、地域や建物を実感すること、体験することを通  
じ、自身でそれらを分析し、望ましい建築空間として  
提案する力を育む。

[ ] 建築物の構造、材料に関わる知識を得るための科目  
群により、各種構造材料に対する構造計画、構造設計手  
法、耐震補強の手法を理解した上で、耐震性、長寿命化  
などを十分に反映した安心・安全な建物の設計、提案す  
る能力を育む。

[ ] 建築物の材料・施工、維持管理に関わる知識を得  
るための科目群により、維持管理計画、材料・施工計  
画を理解した上で、長寿命化などを十分に反映した  
安心・安全な建物の設計、提案する能力を育む。

[ ] 建築に関連する環境要素には、熱・光・空気・水・音  
などがあり、これらを調整して快適かつ環境負荷を抑  
えた建築・設備技術について学ぶ。また、その技術を  
応用し、人々が安全で快適な生活が営める建築空間  
を創造できる幅広い環境共生デザイン能力を身につ  
けていく。



### コース毎のディプロマポリシー

コースDP1  
建築に対する幅広い基礎的な素養を身につけると共に、構造、材料、環境・設備等の分野も総合的に考え、建築の計画・デザイン(設計)を実践できる感性と能力を有すること。

コースDP2  
建築構造や材料・施工に関わる設計・施工、開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とできる知識と実践力を身につける。

コースDP3  
都市計画・地域デザインやまちづくり分野、また都市や建物の再生計画、リフォーム、コンバージョンなどを専門とできる知識と実践力を身につける。

コースDP4  
住まいに関する知識をもとに、戸建住宅や集合住宅などの様々な用途の住宅の計画と設計やインテリアと家具のデザイン、さらには住居後のメンテナンスとリフォームに関する分野まで幅広く携わることができる知識と実践力を身につける。

コースDP5  
建物の環境・設備に関わる設計・施工、開発、維持管理といったエンジニアリング技術を専門とする分野、さらにそれらの技術と建築設計とを総合的に捉えてデザインする分野に携わることができる知識と実践力を身につける。

### 建築・環境学部ディプロマポリシー (概要)

建築・環境学の総合的かつ全体的な学術体系を基盤とし、デザインとエンジニアリングの統合、環境との共生、既存の社会資源の維持・活用・再生、そして人々の持続する生活の質の向上など、現在の共生社会が必要とする諸課題を追究し、それに応えることができる人材を育成するために用意された諸科目の修得を求めます。

- 具体的には、
- ・建築の意匠、歴史、構造、材料、環境・設備に関する基礎的知識を理解している
  - ・建築物を設計する知識に基づいて、図面を描くことができる
  - ・建築の基礎的知識に基づいて、建築物を設計するプロセスを理解している
  - ・上記コース毎にDP(diploma policy)を身につけている

